

会派政務調査活動・先進地調査等 精算書

令和7年7月31日

三田市議会議長 様

本会派（私）は、会派政務調査活動・先進地調査に要した費用の精算結果を下記のとおり報告します。

会 派 名	さんだの未来		代表者	佐貫尚子
			議員名	中田哲
派遣者氏名	佐貫尚子・関口正人・小山裕久・中田哲			
視 察 先	富山市 総曲輪レガートスクウェア 1日目 福井県池田町 2日目			
調 査 事 項 (調査目的)	富山市総曲輪レガートスクウェア 民間活力を生かした学校跡地活用 福井県池田町 地域資源を活かした教育			
日 時	令和7年7月16日（水曜日）～令和7年7月17日（木曜日）			
支 払 金 内 訳	科 目	支 出 額	摘 要	
	宿泊料	13,500 円		
	日 当	6,000 円		
	鉄道賃 (モジュール)	24,380 円	JR 三田駅⇒JR 富山駅 10,950 円 JR 富山駅⇒JR 福井駅 5,480 円 JR 福井駅⇒JR 三田駅 7,950 円	
	航空賃			
	バス賃	420 円	富山駅前⇄総曲輪 210 円 × 2	
	レンタカー	2,719 円	レンタカー10,873 円 (ガソリン・保険込み) 10,873 円 ÷ 4 名 按 分 = 2,719 円 視察時刻に合うバス便無し、タクシー料金よりも費用が安価であった為、レンタカーを利用。	
	タクシー			
その他	3,475 円	視察先へのお土産代 4 人で按分 2,900 円 ÷ 4 = 725 円 視察料金 11,000 円 ÷ 4 = 2,750		
合 計	50,494 円			
備 考	視察時刻に合うバス便が無く、タクシー料金よりも費用が安価であった為、レンタカーを利用。			

※100 km未満の距離における特急利用、タクシー利用の理由は備考欄に記入。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

令和7年7月25日

三田市議会議長 福田 秀章 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	さんだの未来	代表者	
		議員名	中田 哲
派遣者氏名	佐貫尚子・関口正人・小山裕久・中田哲		
視察先及び調査事項	富山市 総曲輪レガートスクエア		
日 時	令和7年7月16日（水曜日）13時0分～15時50分		
視察先対応者	富山市企画管理部企画調整課 政策調整係長 酒井真実子、 NPO 法人まちづくりスポットとやま 菅原 裕子 NPO 法人まちづくりスポットとやま カスティーロ美智子 NPO 法人まちづくりスポットとやま 板屋 亜希恵		
（調査結果の概要及び所見）別紙でも可			
1. 事業概要			
<p>富山市は、公募により大和リースグループを事業者を選定し、地域包括ケアの拠点となる「富山市まちなか総合ケアセンター」を中心とした複合施設「総曲輪レガートスクエア」を整備した。 敷地面積は約 8,700 m²。公共施設部分は大和リースグループが整備後、富山市が買い取り、民間施設部分については富山市と大和リース間で 30 年間の事業用定期借地権契約を締結している。</p>			
2. 施設構成			
(1) 公共施設			
<ul style="list-style-type: none"> ● 富山市まちなか総合ケアセンター <ul style="list-style-type: none"> ○ 産後ケア応援室 ○ 病児保育室 ○ こども発達支援室 ○ 多世代交流スペース(まちなかサロン) 			
(2) 民間施設			
<ul style="list-style-type: none"> ● 学校法人青池学園(医療福祉・調理製菓系専門学校) ● グンゼスポーツ富山レガートスクエア(スポーツクラブ) 			

- ナチュラルカフェ広貫堂(健康志向カフェ)
 - ローソン富山総曲輪店(コンビニ)
 - ファーマみらい広貫堂薬局(調剤薬局)
 - Dパーキングレガートスクエア(立体駐車場 325 台)
- ※コンビニ・薬局・駐車場は同一棟

(3)その他関連施設

- 富山市医師会看護専門学校(新築移転)
- 既存体育館

3. 期待される効果

1. 地域包括ケアの推進

子育て支援、医療・福祉機能を一体的に提供し、市民の生活支援を強化。

2. まちなかの賑わい創出

青池学園の学生数は最大約 540 人増加見込み。周辺商業への波及効果が期待される。

3. 多世代交流促進

サロンやスポーツ施設を通じて、世代間のつながりを創出。

4. PPP(官民連携)モデルの確立

公共施設整備と民間活用を組み合わせた持続可能なまちづくり手法として全国的にも参考となる。

4. 三田市への示唆

- 公共施設を核としつつ、民間活力を導入することで、事業費負担の軽減と継続的な賑わいの確保が可能。
- 定期借地権を活用することで、土地所有権を維持しながら長期事業展開が可能。
- 中心市街地の再生にあたっては、「地域課題解決」と「経済的持続性」を両立する仕組みづくりが重要。

5. 所見

本事例は、少子高齢化・都市機能分散といった課題を抱える地方都市において、公共と民間が補完し合い、限られた敷地と資源を最大限活用する優れたモデルであると評価できる。特に、医療・福祉・教育・商業・交流機能を一体化させた計画は、まちなかの生活利便性を高めると同時に、人口減少下でも持続可能な都市構造を形成する可能性を示している。

三田市においても、駅前や中心部の再編に際しては、単なる建物更新ではなく、このように多機能を組み合わせた官民連携型のまちづくりを検討する必要があると考える。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。

令和7年 7 月 25 日

三田市議会議長 福田 秀章 様

本会派（私）は、政務調査活動・先進地調査等報告書を下記のとおり提出します。

会 派 名	さんだの未来	代表者	
		議員名	中田 哲
派遣者氏名	佐貫尚子・関口正人・小山裕久・中田哲		
視察先及び調査事項	福井県池田町		
日 時	令和7年7月17日（木曜日）10時～12時		
視察先対応者	池田町 教育委員会事務局長 山本弘紀		
	池田町役場 総務課 宮本礼		

(調査結果の概要及び所見) 別紙でも可

三田市教育向上に向けた参考事例報告書

— 福井県池田町の教育からの学び —

1. はじめに

本報告書は、福井県池田町における特色ある教育実践を調査し、その中から三田市の教育向上に資する示唆を抽出することを目的とする。池田町は人口約2,400人の小規模自治体であり、少人数教育、地域連携、伝統文化・自然体験を融合させた総合的な教育が展開されている。

2. 池田町の教育の特徴と学び

(1) 少人数を活かしたきめ細やかな学び

- 幼児期から中学校まで一貫して少人数体制。
- 担任に加え補助教員が入るチームティーチングの実施。
- 児童一人ひとりの状況に応じた柔軟な指導が可能。

三田市への示唆

学級規模の縮小や学年複数担任制の部分導入により、学習理解度や個別対応力の向上が期待できる。

(2) 早期からの外国語教育

- 認定こども園から中学校までネイティブ講師による英語教育を継続。
- 歌や遊びを通じた自然な言語習得環境。

三田市への示唆

英語活動を小学校低学年や幼児教育段階から体系的に実施することで、外国語に対する心理的ハードルを低減できる。

(3) 食育と地域資源を活かした実践学習

- 田植えから稲刈り、郷土料理づくりまで一連の体験を教育課程に組み込み。
- 地元産食材を活用した給食提供と調理体験。

三田市への示唆

農業や地元産業との連携による食育・生産体験を通じ、命や環境への理解を深める学習が可能となる。

(4) 地域連携によるアクティブラーニング

- 地域の人材を講師とする「まち人授業」。
- 大学と連携した調査研究やプロジェクト学習の推進。

三田市への示唆

地域企業・大学・市民団体と協働し、探究学習やキャリア教育の質を高める仕組みを構築できる。

(5) ポジティブ教育と読書推進

- 幼児期から「幸せを自らつくる力」の育成を重視。
- 図書館と連携した読み聞かせ・ブックトーク。

三田市への示唆

ポジティブ心理学の要素を学級経営に導入し、自己肯定感と学習意欲を高める取り組みが有効。

(6) 安心・安全・支援体制

- スクールバス運行による通学安全確保。
- 経済的支援制度の整備と学童保育の充実。

三田市への示唆

通学・放課後の安全確保と経済的格差是正は学びの基盤として不可欠。

(7) 文化・伝統の継承

- 地域固有の能楽や郷土芸能の体験機会。

- 芸術教育と地域アイデンティティ形成の融合。

三田市への示唆

地域文化を教材化し、児童生徒の郷土愛と文化理解を深める教育を強化できる。

3. 所見

池田町の教育は、小規模自治体の特性を活かし、個別対応、地域連携、文化継承を柱とした総合的な教育モデルを構築している。このモデルは人口規模の異なる三田市にそのまま適用することは難しいが、学級運営の工夫や地域との協働、体験型学習の充実など、規模を問わず導入可能な要素が多く存在する。特に、

- 学びの個別最適化
- 幼少期からの一貫したテーマ教育
- 地域資源を活用した実践学習

は、三田市教育の質的向上に大きく寄与する可能性がある。

今後は、池田町の取り組みを参考にしつつ、三田市の地域性・規模・財政状況に適合させたモデルの構築が望まれる。

会派支給の場合、会派名、代表者名を記入してください。

個人支給の場合、会派名[無会派は記入不要]、議員名[代表者名は記入不要]を記入してください。